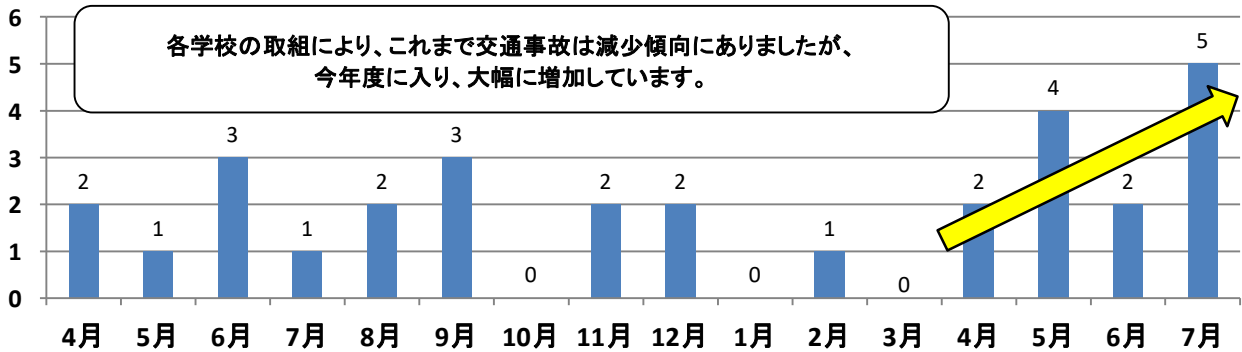


交通事故防止に向けて

中央教育事務所

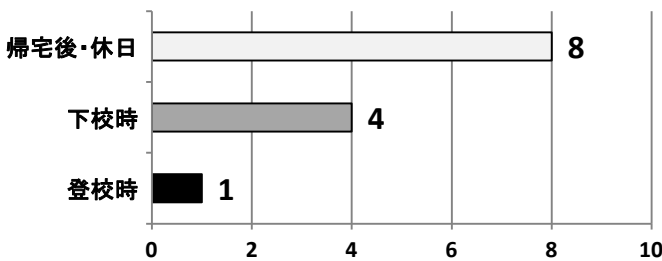
身のまわりにある危険を予測し、自分の命を自分で守りましょう。

平成30年4月～令和元年7月 中央管内交通事故発生件数



各学校の取組により、これまで交通事故は減少傾向にありましたが、今年度に入り、大幅に増加しています。

平成31年4月～令和元年7月



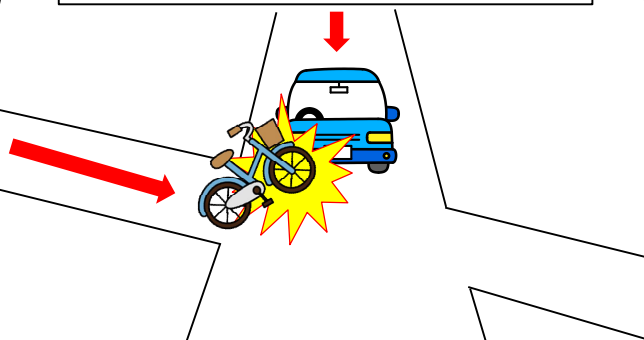
◆例年4月～6月までに交通事故が多くなる傾向にありますが、**今年度は7月に入っ**ても増加しています。

◆今年度の交通事故13件のうち、約半数の7件は**自転車**が関係している事故です。

◆事故の半数以上は、**帰宅後の時間帯または休日**に発生しています。

<中央管内で発生した事故の例から>

下り坂では3年連続で事故が発生しています。



【事故状況】

○自転車で下り坂を走行し、スピードのついた状態で交差点に入り、左折しようとした。その時左側から来た車と衝突した。(ヘルメットを着用していたため、命に別状はなかった)

【事故を防止するためには】

○自分が止まることのできる、安全な速さで走行する。
○交差点に入るときには、必ず一時停止をし、安全を確認する。

他にもこんなことに気を付けましょう。

【信号のある交差点や横断歩道】

- 青信号を守ることはもちろん、付近の状況をきちんと確認してから通行する。
- 車の運転者の視線に注意する。
→「止まってくれるだろう」ではなく、「止まってくれないかもしれない」



【信号のない交差点、見通しの悪い交差点】

- 必ず一時停止をしてから通行する。
→「人や車が出てくるかもしれない」

【商店や施設、駐車場の近く】

- 付近の安全を確認してから通行する。
→「入る車や出る車があるかもしれない」

各学校では

- 学区の危険マップを見直すなどして、地域の危険箇所を再度確認しましょう。

